

内部質保証に係る自己点検・評価（令和5年度実施）結果

令和6年6月14日
自己点検・評価委員会

▶ 根拠規定等

徳島大学自己点検・評価に関する実施要項により、自己点検・評価委員会は、推進責任者である理事・副学長が所掌する委員会等における内部質保証の状況を毎年度確認することとしている。

▶ 確認の方法

全学委員会等（大学教育委員会、学生委員会、入学試験委員会、国際交流委員会、施設・環境委員会、情報戦略室会議、附属図書館運営委員会）からの報告に基づき確認を行うことを原則とし、必要に応じて根拠資料等の提出を求め、点検・評価方法を含め内部質保証の状況確認を行った。

▶ 令和5年度の点検・評価の結果（総括）

自己点検・評価委員会では、各委員会等の点検・評価の結果、全学的視点により改善を要する事案について、取りまとめた結果、推進責任者のもと、各委員会等が定めた実施要項に基づき、点検・評価が実施されていること、また、検出された改善事項については、既に検討又は対応に着手されていることが確認できた。

《全学的に留意すべき事項》

● 入学定員及び収容定員の充足率について

大学設置基準では、「教育にふさわしい環境の確保のため、在学する学生の数を収容定員に基づき適正に管理する」ことが求められている。

入学時に定員が未充足とならないように、また、収容定員が大幅に超過しないように、各学部・研究科で十分留意しての学生確保に努める必要がある。

● 教員数の確保について

大学設置基準等において、教育の質の担保のため、学部においては専任教員及び基幹教員の基準、研究科においては研究指導教員等の基準が定められている。

教育の質を確保するために、常に基準を下回ることのないように計画的に採用を行い、教員を配置する必要がある。

《昨年度以前からの改善事項への対応状況》

● 入学定員の充足率について

入学定員の充足率については、自己点検・評価を開始（令和元年度）以降、留意すべき事項としているところである。

大学機関別認証評価（令和元年度受審）において、「医科学教育部修士課程医科学専攻、薬科学教育部博士課程薬学専攻*において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている（0.70未満）」ことが「改善事項」として指摘された。

・ 医学研究科修士課程医科学専攻

令和5年度において、充足率が改善された状況（令和元年度～令和5年度（春期）の5年平均で0.82倍）であると判断し、大学改革支援・学位授与機構に報告を行ったところ、改善が認められた。

・薬学研究科博士課程薬学専攻

学内外の広報等対応を行ってきたが、令和2年度～令和6年度（春期）の5年平均（平均実入学者数1.8人／入学定員4人）において充足率が0.45倍と改善されなかった。

※医科学教育部及び薬科学教育部は、令和4年4月に医学研究科及び薬学研究科に名称変更

【自己点検・評価委員会所見】

入学定員の充足について、プログラムの改善や学内外の広報など、各部局で取組を進めているが、充足していない部局が見受けられる。引き続き、学生にとって魅力的な教育プログラムの構築や奨学金の充実等について検討・実施していただきたい。

収容定員の充足について、充足していない部局がある一方、大幅に超えている部局も見受けられる。

いずれの部局においても、「教育にふさわしい環境の確保」に留意していただきたい。

◆大学教育委員会

点検・評価の項目
教育プログラムの点検・評価
その他必要と認められる事項（教学アンケートの実施及び分析）

【自己点検・評価委員会所見】

実施要項に定める点検・評価の項目について、点検・評価が実施されている。

大学教育委員会において年度ごとに重点的に点検・評価を実施する項目を定め、着実に取組を進めている。

教育プログラムの点検・評価において、点検は進められているが、把握した問題点について、改善の実施を着実に進めていただきたい。

「授業（研究）評価アンケート」及び「卒業時・修了時アンケート」において、「授業時間外学修の少なさ」や「語学マイレージプログラムにおけるサポートや授業などについての満足度の低さ」等が指摘されている。結果の分析にとどまらず、検出された課題に対して、改善の実施を着実に進めていただきたい。

《特記事項》

▶ 教学アンケートの実施・分析

令和4年度より、「授業（研究）評価アンケート」及び「卒業時・修了時アンケート」を大学教育委員会が統括組織として実施し、各学部等から報告された課題及び改善案の分析を行っている。

令和5年度の分析では、当年度の分析だけではなく、令和4年度からの改善が見られた点についても振り返りを行い、フォローアップに努めている。

◆学生委員会

点検・評価の項目
学生生活に関する支援の状況
学生の経済に関する支援の状況
学生の健康に関する支援の状況
学生の就職等進路に関する支援の状況
学生の課外活動に関する支援の状況
障がいのある学生に関する支援の状況
学生の課外活動施設、福利厚生施設及び学生寮の管理運営の状況
その他必要と認められる事項（「学生生活実態調査」の対応計画及び進捗状況）

【自己点検・評価委員会所見】

実施要項に定める点検・評価の項目について、点検・評価が実施されている。

様々な困難に直面している学生に対する支援を着実に実施されている。

「学生生活実態調査」、「卒業生・修了生アンケート」、「雇用主アンケート」等のアンケートや「学生意見箱」等の取組を通じて収集した学生等の意見について、検討されている改善につなげる取組を進めていただきたい。

学生健康診断については、検討されている受診率の向上とその後の指導について着実に取組を進めていただきたい。

《特記事項》

▶ ピアサポーターの育成

ピアサポーターの育成では、対面（リアルタイムWEB動画も併用）での勉強会を開催したほか、アクセシビリティリーダー育成協議会が実施しているアクセシビリティ・オンライン講座を53人が受講し、アクセシビリティリーダー認定試験では18人が2級に、7人が1級に合格・認定となった。オンライン講座受講者及び認定試験合格者数は、昨年度実績の約1.7倍に達しており、アクセシビリティリーダーに関心を持つ学生・職員が大幅に増えた。

◆入学試験委員会

点検・評価の項目
入学者受入方針の認知状況
入学者選抜の実施状況
志願者の状況
実入学者の状況

【自己点検・評価委員会所見】

実施要項に定める点検・評価の項目について、点検・評価が実施されている。

また、点検・評価の結果、改善が必要な事項についても、既に検討に着手しており、内部質保証が着実に進められているものの、出題誤りが2年連続して発生したことを踏まえ、更なる再発防止の徹底をお願いしたい。

◆国際交流委員会

点検・評価の項目
留学生受入の状況
留学生に関する修学支援の状況
留学生に関する生活支援の状況
留学生に対する経済的支援の状況
留学生に関する就職支援の状況

【自己点検・評価委員会所見】

実施要項に定める点検・評価の項目について、点検・評価が実施されている。

また、留学生の修学支援・生活支援・経済的支援及び就職支援については、検出された改善すべき事項について、既に対応又は検討に着手しており、内部質保証が着実に進められている。

《特記事項》

▶ 渡日前入学許可制度の拡大

渡日前入学許可制度について、新たにモンゴルを対象国として追加した。今後、台湾での新規開拓も予定しており、優秀な学部留学生のさらなる確保が期待できる。

◆施設・環境委員会

点検・評価の項目
耐震化の状況
バリアフリー化の状況
施設の安全性の状況（外灯の配置状況）

【自己点検・評価委員会所見】

実施要項に定める点検・評価の項目について、点検・評価が実施されている。

また、点検・評価の結果、改善が必要な事項についても、既に対応又は検討に着手しており、内部質保証が着実に進められている。

◆情報戦略室

点検・評価の項目
学内 LAN（学内ネットワーク）の整備状況
ネットワーク装置等の整備状況
教育への活用状況
セキュリティの状況
その他必要と認められる事項（システムの更新等）

【自己点検・評価委員会所見】

実施要項に定める点検・評価の項目について、点検・評価が実施されている。

計画的に可能な機器の更新・増設を進め、安定的なインフラの提供に努めている。また、第三者機関の審査結果を自己点検・評価に活用する等、内部質保証が着実に進められている。

インシデントへの対応については、引き続き迅速な対応と再発防止の徹底をお願いしたい。

《検討・改善を要する事項》

▶ コンピュータやインターネットの設備整備について

令和6年3月21日開催の情報戦略室会議では、「令和5年度学生の学修に関する実態調査結果（学部1・3年生）」において、「コンピュータの施設や設備」に関する設問では、満足と普通で94%、「インターネットの使いやすさ」に関する設問では83%の評価を得たことから遠隔授業で使っているコンピュータの施設や設備、ネットワーク環境は概ね支障がなかった」と判断されていた。一方で令和6年4月17日開催の大学教育委員会において、「卒業時・修了時アンケートで、コンピュータの設備やインターネットの使いやすさ等がやや低い評価となっており、具体的な問題点を抽出し、必要に応じて改善に向けた検討が必要である」と指摘されている。これは、先の根拠資料となる情報戦略室会議で用いた調査とはアンケートの種別や対象学年が異なり、特にコロナ禍の時期による影響も想定されることから単純比較はできない。ただし、大学教育委員会での報告も踏まえて、一度対策の必要性を検討いただきたい。また、アンケートの設問内容が利用時の具体的な状況を示唆するものでない場合は、アンケートを追加または独自取得するなどの検討も合わせてお願いしたい。

《特記事項》

▶ ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）更新審査

ISMS 定期審査において、【情報基盤システム利用者への提供情報の改善】、【組織の状況の監視・評価の強化】、【システム変更時のチェックリストの項目見直し】が評価された。

◆附属図書館運営委員会

点検・評価の項目
学術情報（資料）の整備状況
図書館の利用状況
図書館の施設・設備の整備状況
図書館に対する満足度の状況
その他必要と認められる事項（機関リポジトリによる研究成果の登録・公開の促進、オンライン窓口の導入、デジタルアーカイブ事業）

【自己点検・評価委員会所見】

実施要項に定める点検・評価の項目について、点検・評価が実施されている。

また、図書館アンケート等の意見聴取の結果を受け、開館時間の延長や利用可能スペースの拡充等、利用者の要望に応える改善を行っており、内部質保証が優れて機能している。

《特記事項》

▶ オンライン窓口の導入

図書館サービス向上のため、情報センターと連携し、学内者向けオンライン窓口（チャットボット）を導入、公開している。